

そらいろ保育園における自己評価 令和5年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	子どもの発達や興味、季節にあった保育計画を、柔軟性を持って設定していくことに心がけた。今後の課題として、同じ方向を向いて保育にあたり自分のクラスだけでなく園全体で子どもたちに目を向け、子どもと保護者を支えていく体制を整える。
保育について	一人ひとりの子どもに気を配り丁寧に関わるよう心掛けている。見 通しをもって準備ができたり、遊ぶ時間を十分に確保し、保育者自身も楽しみながら保育をすることができている。子どもたちが興味関心を持ち、楽しめる遊びの準備は出来ているが、もっと発展できるように工夫し、評価、反省をもとに次に生かして行くことが課題である。それぞれの職員の保育感を活かしながらクラスの特徴、月年齢に合わせて意見を出し合いながら作り上げていきたい。
行事	子どもが親しみを持って参加できるよう努めている。行事記録による評価、反省等の視点をより意識して体制作りについて考え、来年度に繋げていきたい。
研修	専門性を高めるため研修に参加し、自分の保育を見つめ直す機会とし、研修後は研修報告書を取り入れ保育の質向上に取り組むことができた。
家庭・地域との連携	連絡ノート等により家庭との日々の情報交換を行い、日々のコミュニケーションにより信頼関係を築き、保護者の思いを理解するように努め、丁寧に対応するように心がけている。
安全対策	保育中の事故、怪我のないよう保育士同士声をかけ合い対応している。事故防止については、ヒアリハット報告書に記入して、職員間で安全対策のため、情報を共有している。
情報発信	園だより、ホームページにより定期的に保育の様子を更新している。情報管理に留意しながら今後も続けていく。
情報保護	保育業務の中で知れた子どもや家庭に関する秘密保持について職員に周知するとともに、個人情報に関する内容は、慎重に取り扱い、適切に対応している。
調理内容	食事の状況に基づき調理内容を改善し、乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう食事について見直しを行っている。
健康管理	子どもたちの健康状態の情報を職員で共有し、ひとりひとりが健康に安全に過ごせるように日々対応している。
事務管理	事務処理を迅速に処理することや今までのデータの保存や整理を行い、書類をわかりやすい物に変更していった。今後も書類等の見直しを行い、書類の保管、管理を徹底していくよう努める。